

保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて ③



保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて

- 1 保幼小接続期カリキュラムとは 1P
- 2 宮城県内の取組 3P
- 3 幼児期から学童期への学びのイメージ 4P



- 4 アプローチカリキュラム実践の流れ 5P
- 5 スタートカリキュラム実践の流れ 6P
- 6 振り返り 7P

幼児期に主体的な遊びを通して身に付けた力が、学童期においてどのようにつながり、子どもの成長に作用していくのかを理解した上で、保育所、幼稚園、認定こども園等と小学校のいずれにおいても保幼小接続期カリキュラムを作成することが求められています

そこで、保育所、幼稚園、認定こども園等と小学校において、子どもの発達と学びの連続性及び一貫性を考慮し、保育と教育の円滑な接続を図るため、「宮城県版 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて」を作成しました。

それぞれの実情に合わせて接続期カリキュラムを作成、または実践する際の参考として、本書をご活用ください。

平成31年3月
宮城県教育委員会





保幼小接続期カリキュラムの 実践に向けて

1 保幼小接続期カリキュラムとは 1P

2 宮城県内の取組 3P

3 幼児期から学童期への学びのイメージ 4P



4 アプローチカリキュラム実践の流れ 5P

5 スタートカリキュラム実践の流れ 6P

6 振り返り 7P

4 アプローチ カリキュラム 実践の流れ

幼児期に主体的な学びを通して身に付けた力が、学童期においてどのようにつながり、子どもの成長に作用していくのかを整理した上で、保育所、幼稚園、認定こども園等と小学校のいずれにおいても保幼小接続期カリキュラムを作成することが求められています

そこで、保育所、幼稚園、認定こども園等と小学校において、子どもの発達と学びの連続性及び一貫性を考慮し、保育と教育の円滑な接続を図るため、「宮城県版 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて」を作成しました。

それぞれの実情に合わせて接続期カリキュラムを作成、または実施する際の参考として、本書をご活用ください。

平成31年3月
宮城県教育委員会



アプローチカリキュラム実践の流れ

互いのカリキ

このPDCAサイクルは、各主体の実情に合わせて期間を設定しましょう。



P lan

園(所)内の全体で検討していく準備をしよう

ねらいを明確にし、小学校での生活や学習につながる姿をイメージしながら計画を立てる。



ポイント

入学後の様子を観望しよう

保育者が小学校入学後の姿を観望することで卒園(所)後の姿のイメージが持てます。

保育者同士で共有しよう

小学校入学を見据え、育んでいきたい姿や保育の課題について共有することで援助の一貫性が図られます。



P lan

園(所)内の全体で検討していく準備をしよう

カリキュラム作成の視点

視点1 生活をつなぐ

視点2 人をつなぐ

視点3 学びをつなぐ



P lan

園(所)内の全体で検討していく準備をしよう

視点1 生活をつなぐ

乳幼児期からの生活経験や遊びを基に、これまでの気付きや学びが小学校入学後の生活や学習に生かされるようになる。また、身辺処理も自立に向かってますます意欲的になる。



P lan

園(所)内の全体で検討していく準備をしよう

視点2 人をつなぐ

友達や大人との触れ合いを通して他者意識が芽生え、よりよく関わろうとする意欲が出てくるようになる。また、小学校や児童，教諭の存在を身近に感じるようになる。



P lan

園(所)内の全体で検討していく準備をしよう

視点3 学びをつなぐ

小学校に対する全体像を目や心で感じることで安心感を持つようになる。また、知りたいことや見たいことなど、多くのことに興味・関心を示し、自分で調べたり、周囲の大人に聞いたりするようになる。



P lan

園(所)内の全体で検討していく準備をしよう



アプローチカリキュラムは、小学校教育で指導する文字の読み書きや計算などを前倒しで指導するカリキュラムではないことに十分留意しましょう。

小学校入学までには身に付けておくことが期待されること

- 〈例えば〉
- 自分の名前が読める。
 - 給食や弁当を自分で食べる。
 - 一人でトイレを利用する。
 - ロッカーに自分の荷物を収納する。

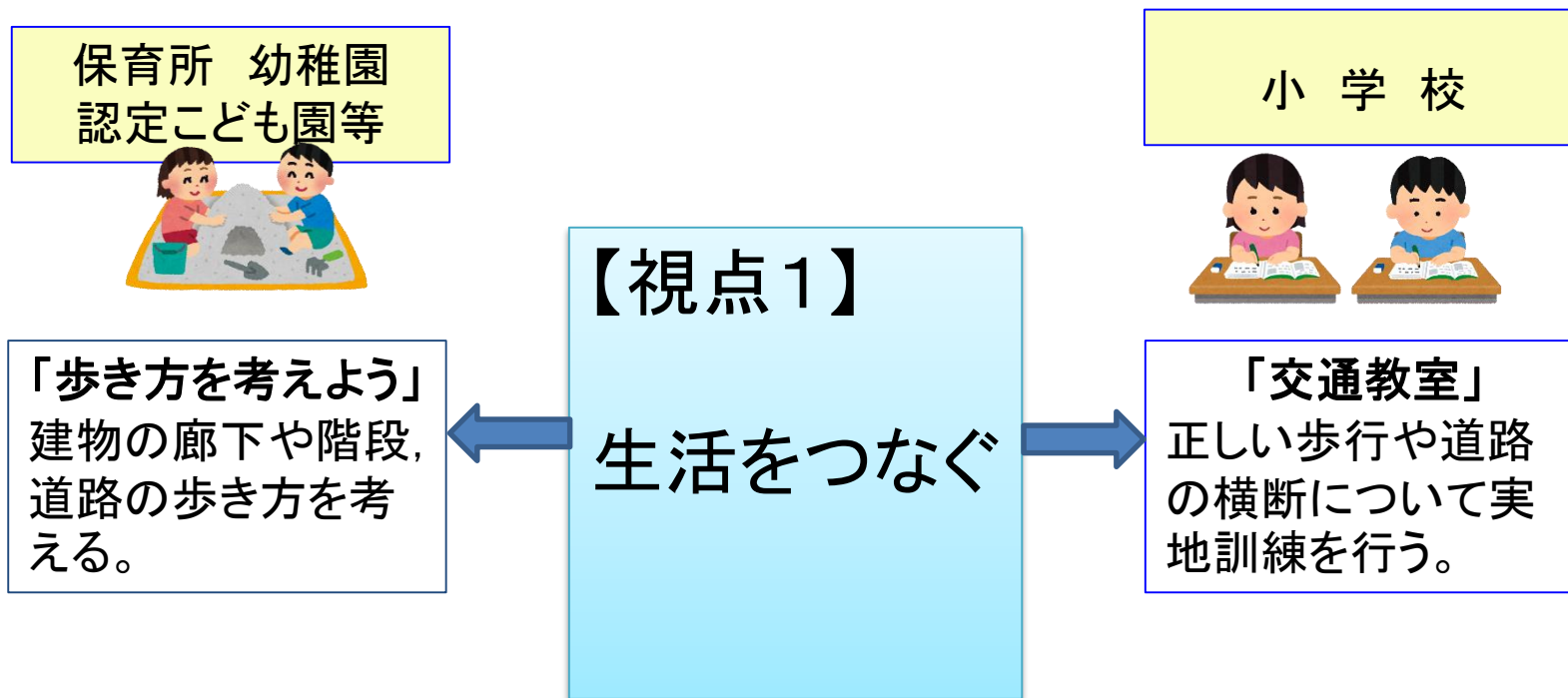


P lan

園(所)内の全体で検討していく準備をしよう

カリキュラム作成の視点と具体例

幼児期の教育や保育が、小学校生活にどのようにつながっていくのかイメージしてみましょう。



P lan

園(所)内の全体で検討していく準備をしよう

カリキュラム作成の視点と具体例

幼児期の教育や保育が、小学校生活にどのようにつながっていくのかイメージしてみましょう。

保育所 幼稚園
認定こども園等



「お手紙の交換をしよう」
小学生と絵や手紙の交換を行い、小学生を身近に感じる。

【視点2】

人をつなぐ

小学校



「紹介しよう」
家族や友達を紹介する作文を書き、家族や友達の良さに気付く。



P lan

園(所)内の全体で検討していく準備をしよう

カリキュラム作成の視点と具体例

幼児期の教育や保育が、小学校生活にどのようにつながっていくのかイメージしてみましょう。

保育所 幼稚園
認定こども園等



「かるた遊びをしよう」
かるた遊びを通して
文字に関心を持つ。

【視点3】

学びをつなぐ

小学校



「平仮名を覚えよう」
平仮名の書き方を
覚えて言葉や短い
文章を書く。



D0

全体で協力して援助をしよう

生活や遊びにおいて担任以外が援助する際においても、アプローチカリキュラムの意義やねらいを理解した上で援助する。



ポイント

保護者に伝えよう

懇談会やお便り等で子どもが楽しく遊ぶ様子をエピソードで伝えましょう。主体的な遊びがやがて学びの種になることを理解してもらうことは、保護者の意識の変容につながります。



check

子どもの姿をもとに、遊びや活動の手立てを語り合おう

実践の成果や課題について確認する。

小学生と交流した場合には、小学校教諭と情報・意見交換をする。



ポイント

保育を参観してもらおう

小学校の先生方に生活や遊びの様子を参観してもらい主体的な遊びの大切さを共有しましょう。



Action

共有した成果と課題を次の活動に生かそう

子どもの様子や活動の展開を写真等で整理し、子ども自身や保護者にフィードバックしていく。



ポイント

日常の保育に生かそう

日常生活や遊びにアプローチカリキュラムの視点を持ちながら保育計画を見直すことで、日常化が図られます。



アプローチカリキュラム実践の流れ

← 互いのカリキ

「Plan」と「Do」の段階だけで終わってしまっているのではなく、「Check」と「Action」の段階を経て、常に改善し続けることが重要です！





保幼小接続期カリキュラムの 実践に向けて

1 保幼小接続期カリキュラムとは 1P

2 宮城県内の取組 3P

3 幼児期から学童期への学びのイメージ 4P



4 アプローチカリキュラム実践の流れ 5P

5 スタートカリキュラム実践の流れ 8P

6 振り返り 7P

幼児期に主体的な遊びを通して身に付けた力が、学童期においてどのようにつながり、子どもの成長に作用していくのかを整理した上で、保育所、幼稚園、認定こども園等と小学校のいずれにおいても保幼小接続期カリキュラムを作成することが求められています

そこで、保育所、幼稚園、認定こども園等と小学校において、子どもの発達と学びの連続性及び一貫性を考慮し、保育と教育の円滑な接続を図るため、「宮城県版 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて」を作成しました。

それぞれの実情に合わせて接続期カリキュラムを作成、または実践する際の参考として、本書をご活用ください。

平成31年3月
宮城県教育委員会

「宮城県版 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて〈リーフレット〉」

「宮城県版 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて〈資料編〉」

は、宮城県HPからダウンロードできます。

次回は、「スタートカリキュラム実践の流れ」について御説明いたします。

